

港湾經濟研究

日本港湾經濟学会年報

NO. 7

1969

日本港湾經濟学会編

序

本年度第8回全国大会は大阪港において、「大都市港湾の諸問題と将来」という共通テーマのもとを開かれようとしているが、これはまさに地を得た感がする。わが国経済の高度成長は、一方では大都市、メガロポリス等の広域都市圏を、他方では、東京湾、大阪湾等の広域港湾が問題になりつつある。また、わが国の「港湾問題」はいよいよ広範囲にして複雑化している時、自由テーマにおいても研究発表者各位の立場より、各々重要な諸問題が論じられようとしている。願わくは、それらの研究発表が、港湾経済の学問的確立に参加すると共に、有意義な討論を経て、わが国港湾の健全な発展に貢献するよう念じてやまない。

本号は、その共通テーマと昨年度北海道大会における自由テーマの論稿をもって各位の御高批に供する次第である。これらの諸論文と、これに対する学的批判が充分行なわれることによって、今後益々本学会が本来のアカデイミズムの向上と、各面での活動が盛んになることをも念ずる。

本学会の活動については、大会地の地元各位の絶大なる御尽力と、賛助会員、正会員各位の御協力、さらに事務局関係者のかけの御努力等のきわめて大なることをあらためて厚く感謝すると共に、今後なお一層御力ぞえの程を御願いする次第である。

昭和44年初秋

日本港湾経済学会々長 矢野剛